

ビジネス フォーカス

【医療】

【健康・医療市場への新規参入】

現在、新規事業として最も注目を集める分野の一つに、ヘルスケア市場がある。日立製作所や東芝などが関連組織を見直したり、中期経営計画で重要な分野と位置付けていることから、成長市場としての期待感の大きさがうかがえる。商工会議所などの公的セクターによる中小企業への参入支援も積極的に行っている。

これまでも、医療福祉分野は社会性が高く、景気変動が少ない安定した市場との評価が多く、一定の注目度を維持してきた。

た。

さらに近年の成長要因として、加速的に進行する高齢化社会で医療、介護、健康管理の重要性が年々高まっていることがある。政策面でもこの分野の成長を促す方針や施策が明示されており、ビッグデータやウェアラブルデバイスなどの技術的な発展が寄与する分野としても広く認識されている。

他方で医療機器や医療デバイス、ICTなどの市場成長率が決して高くないことは、あまり知られていない。

矢野経済研究所は、各種の市場調査レポートを発刊しているが、国内の医療分野で高い成長率を示す市場を探すことは非常に困難だ。医療費削減は国家としての課題である。医療サービスを提供する病院施設数の減少や経営環境の悪化、医薬品医療機器法（旧薬事法）などの参入障壁もあり、ネガティブな要素が多い。

魅力的な市場であると同時に

に、参入は容易でないため、検討の際は何らかの切り口でフォーカスしていく必要がある。

そのヒントとして①成長領域は医療の前後に位置付けられる「健康増進、予防」「在宅、介護」②医療ではニッチな高付加価値プロダクトまたは海外（途上国）が成長市場③これらの成長領域・市場のICT化による新規サービスが有望であること

を挙げたい。

①は医療費の増加傾向に歯止めを掛けるため、日常から健康意識を高めてもらい「病気になる」「慢性期疾患にならない」「行動を促すものである。医療現場では、病院から自宅へのシフトが進行している。これらの動きから浮上するキーワードは「個人」と「自宅」だ。

②は手術用ロボット、小型化したカプセル内視鏡、iPS細胞の活用など、技術的發展による市場の創出やその成長が期待される領域となる。途上国での市場開拓も大きな余地がある。

医療機器などハードウェアだけでなく、医療サービス・手技といった技術面などソフトウェアの輸出も不可欠となる。キーワードは「新市場開拓」。

③はデータ分析・解析の有効活用による市場創出が期待される領域である。取り扱うデータの範囲や使用目的、利用者が拡大するビッグデータの登場が背景にある。従来にはないBtoC型サービスや、ヘルスケアICTが社会インフラとして整備されることになれば、大きなビジネスチャンスが生まれることは間違いない。キーワードは「ビッグデータ」であろう。

これら成長が期待される市場・領域で、リソースや技術、経験など、自社の優位性を見いだせれば、ビジネスモデルの検討は円滑に進む可能性がある。市場活性化のためにも、新規参入企業の増加に期待したい。

（矢野経済研究所）

医療機器・医療システムグループ

主任研究員 勝見 英樹